

5丁目若松会「まちかど消火訓練」実施レポート

(令和2年10月24日 於:大長寺境内)

◎指導:府中消防署朝日出張所

R2.10.29

井家記

1. 安否確認プレート掲示・訓練参加状況

班	世帯数	プレート 掲示	訓練参加		備考
			世帯数	人数	
1	14	4	5	7	
2	10	2	1	1	
3	11	8	3	4	
4	14	7	7	14	子供5
5	16	6	5	5	
6	4	1	0	0	
7	12	6	5	8	
8	6	1	0	0	
外来				2	東村山市南青葉会
合計	87	35	26	41	
%		40%	30%		

2. 訓練実施内容（マスク着用、手消毒、適正間隔等の感染防止対応下で実施）

1) 挨拶・防災講和・・・平田副会長、牛山朝日出張所々長

※今回、当町会の防災訓練取組が表彰され、感謝状が贈られるとの事です。

2) 消火器使用訓練(20分)

- ・昨年に続き、消防署の消火器の正しい使い方の説明で開始。
- ・参加者全員が二列になって順番に数メートル先の火元に消火液噴射訓練。

3) 消火栓スタンドパイプ放水実用訓練(約1時間)

本訓練は、消防署で訓練を重ねてきた「(自称)5若自主消防隊」が主体となり、消防署は随時指導・支援の立場で行われた。

① 都助成金で購入のスタンドパイプ機材の使用説明

会場中央に集合し、消火行動のステップに沿って使用する機材の解説

② 隊員による初期消火行動の実演披露

- ・使用する消火栓は、大長寺前通り南約20m先の角形消火栓。
- ・吸水班2名、放水班2名の1チーム4名体制である。

(実演披露後、元の状態にリセット)

③ 参加者中、体験希望二組による初期消火体験訓練

- ・隊員のステップ毎の解説を聞きながら消火行動を一通り体験。
- ・他の参加者はその一連の体験行動を見学。

4) ご講評・要望(牛山所長より)

- ・当町会の熱心な取組みに感謝、今後も是非続けていただきたい。
- ・大地震災害時の同時多発出火予防も極めて大切です(特に電気火災)
- ・消火栓からの初期消火は難しいことはなく、問題意識を持って訓練すれば「自分たちの力でもできる」と実感されたことと思います。

5) 11時45分 終了解散

参加者には、防災クッカー・町内用防災マップなどを持ち帰りいただいた。

3. 感想・まとめ

- 1) 新型コロナ禍、計画人数30を上回る40名以上の参加人数で盛況でした。
- 2) 安否確認プレートの掲示については40%、前年は63%とかなり低調でした。
※回覧不可の状況で事前の再案内ができずつい忘れていた世帯があった様です。
- 3) このような防災訓練行事で地域の集まりができることが大切と感じました。
- 4) 自称「5若自主消防隊」の隊員増加・活動が円滑にできる体制が必要と思う。
- 5) これまで何度もご指導を頂いた府中消防署朝日出張所の皆様、また今回快く会場をご提供頂いた大長寺さんに対しまして、心より感謝いたします。



(消防車も来ました)

(次ページは訓練風景のスポット)

令和2年10月24日(土)午前中開催 5丁目若松会「まちかど消火訓練」スポット集



安否確認プレート掲示



訓練会場 大長寺境内



平田副会長の開会挨拶



牛山朝日出張所々長の挨拶・講和



消火器のた正しい使い方を教わる



火元の的をめがけてシュー



「これどうするの?」と子供達



消火器使うの初めてかも !!



機材の説明を聞く参加者の皆さん



スタンドパイプの使い方を説明



隊員による消火栓蓋開け



スタンドパイプセット完了



ホース延長され放水開始合図



墓所の方向に放水



参加者も積極的に体験



ホースを延長・接続・放水開始合図待ち



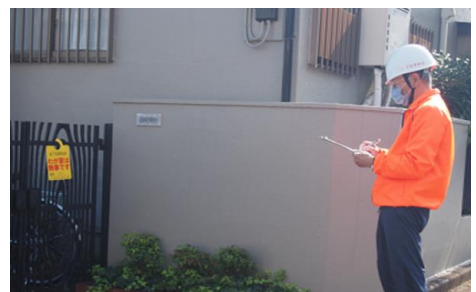
放水開始合図を掛け、放水開始



子供達も初めての放水体験に大喜び



牛山朝日出張所々長の講評



安否確認プレート掲示状況チェック